

第四次明日香村整備計画の進捗状況について

■ 計画の目的

歴史的風土の保存等をより一層推進するため、明日香村整備基本方針を踏まえた歴史的風土の創造的活用に加え、明日香村の主体的取組の一層の推進や、歴史的風土の保存のためのきめ細かな景観の維持・向上対策など、歴史的風土創造的活用交付金を用いて行う事業に関する計画を策定するもの。

■ 計画期間 5ヶ年（平成22年度～平成26年度）

■ 歴史的風土の創造的活用に関する方針

1. 歴史的風土を活用した歴史文化学習の場の整備
2. 明日香村にふさわしい景観創出
3. 歴史的風土を活用した地域産業振興
4. 歴史的風土の保存についての国民啓発



遺跡のCG再現等（石舞台古墳）



景観の維持・向上（栢森地区）



地域産業の振興（夢市等で提供）



国民啓発（まほろば講座）

■ 歴史的風土の創造的活用に関する目標

次の指標を定め、当交付金事業を行うことにより総合的に成果を求める。

指標	当初値	目標値	方針との対応
明日香村が含まれる旅行商品の数 [ツアー]	116	120	(1)、(3)
主要観光施設の入場者数 [千人]	1,290	1,300	(1)、(3)
修学旅行者数 [千人]	86	90	(1)
建築物等の修景件数 [軒]	—	250	(2)
遊休・放棄地面積 [ha]	162.2	156.5	(2)
采女の宅配便発送件数 [件/年]	508	550	(3)
明日香循環バス乗車人数 [人/年]	—	12,000	(3)
オーナー制度会員数 [人]	724	750	(4)
発掘調査面積 [㎡]	—	7,500	(4)
講演会参加者数 [人]	—	3,000	(4)

明日香村歴史的風土創造的活用交付金事業の成果

1. 歴史的風土を活用した歴史文化学習の場の整備

事業概要

古墳・遺跡の整備における補助対象とならない内容について主体的な取組を行い、誰にでもわかりやすい歴史展示の整備や、来訪者が明日香村を回遊しながら体系的に歴史を学べるようにネットワークを強化するなど、歴史文化学習の場の整備を積極的に行う。

事業メニュー



遺跡のCG映像作成による歴史展示（飛鳥寺）



CG映像による分かりやすい歴史紹介



周遊歩道を補完するネットワーク道路の整備



史跡や名所における除草作業や清掃等の環境美化

指標による評価

	当初値	H24	目標値
明日香村が含まれる旅行商品の数(件)	116	136	120
主要観光施設の入場者数(千人)	1,290	894	1,300
修学旅行者数(千人)	86	76	90

成果

- CG映像で再現することで、これまで言葉や文章だけの説明では理解できなかった明日香村の価値を、イメージとして分かりやすく伝えることを可能とした。
- ネットワーク道路が整備され、来訪者の周遊性、住民生活の安全性・利便性が向上し、「もてなし空間」「安全・安心」の環境が創出されている。
- 史跡地等における環境美化によって、来訪者の安全性・快適性が向上している。

明日香村歴史的風土創造的活用交付金事業の成果

2. 明日香村にふさわしい景観創出

事業概要

よりきめ細かなルールによる景観形成を進め、行政による公共物の積極的な修景や建築物のデザイン修景を誘導するための取組を行うとともに、ボランティアとも連携し遊休農地の解消や里山整備を行うなど、明日香村にふさわしい景観の創出を行う。

事業メニュー



建築物、工作物等のデザイン修景を誘導



遊休農地・荒廃農地の解消、農地としての回復



ボランティアと協働による里山・竹林等の整備



各集落における景観計画の策定

指標による評価

	当初値	H24	目標値
建築物等の修景件数(件)	—	139	250
遊休・放棄地面積(ha)	162.2	156.4	156.5

成果

- 大字景観計画の策定 : 4件
川原大字:H23.6、野口大字:H24.3
奥山大字:H25.3、真弓大字:H26.3
- 村民以外の新たな担い手として大学や企業などが参画する中で、景観阻害要因(竹林等)の撤去に取り組み、景観形成(改善)の効果が上がっている。
- 景観計画策定後、景観デザインマニュアル、公共事業景観形成指針が作成され、さらに集落ごとに定める景観計画により景観の維持・保全が図られている。

明日香村歴史的風土創造的活用交付金事業の成果

3. 歴史的風土を活用した地域産業振興

事業概要

地元農林産物による飛鳥ブランドの開発・育成を図ることや、棚田や史跡など他の地域にはない魅力を活かした取組を行うとともに、観光の基盤整備を行い、農商工・文化財を連携した観光業の仕組みづくりを積極的に行い、村の地域活力の向上に向け、歴史的風土を活用した地域産業振興を行う。

事業メニュー



棚田や史跡を舞台とした観光イベントの実施



地元産の農林産物を活用した特産品の開発



駅・国営公園・観光拠点等を結ぶ、かめバスの運行



空き家バンクシステムを活用した定住対策

指標による評価

	当初値	H24	目標値
明日香村が含まれる旅行商品の数(件)	116	136	120
主要観光施設の入場者数(千人)	1,290	894	1,300
采女の宅配便発送件数(件)	508	383	550
明日香循環バス乗車人数(人)	—	11,625	12,000

成果

- 「観月会」、「光の回廊」、「彼岸花祭り」など明日香村の歴史的風土を活用したイベントを企画・実施し、観光振興を通じた地域活力の向上につなげた。
- 観光イベントを行いつつ、バス運行やあすかナビの構築など観光基盤の整備を行うことで、多くの方が訪れやすい環境をつくられている。
- 明日香村産農作物を使用した特産加工品の開発やその加工品の販路拡大に向けたPR活動を行うことで、⁴ 売り上げが増加している。

明日香村歴史的風土創造的活用交付金事業の成果

4. 歴史的風土の保存についての国民啓発

事業概要

まだ解明されていない遺跡の発掘調査を促進し、その成果や明日香村の歴史的文化的遺産の価値を、より多くの人に理解していただくための啓発を積極的に行うとともに、明日香の魅力を後世及び全世界に発信できる人材の育成を行う。

事業メニュー



各大字管理組合への清掃美化・啓発活動



オーナー制度を通じた景観や「農」の啓発



発掘調査の成果を伝える講演会の開催



村内の小中学生に対する郷土学習の推進

指標による評価

	当初値	H24	目標値
オーナー制の会員数[人]	724	736	750
発掘調査面積[m ²]	—	6,291	7,500
講演会参加者[人]	—	4,289	3,000

成果

- 史跡周辺など村全域において、村民による環境の維持・保全の取り組みにつながっている。
- オーナー制度を通じて、遊休農地解消に向けた担い手の確保、新たな営農スタイルの確立などの効果に結びついている。
- 講演会では発掘調査の成果が公開され、たくさんの参加者が集まっている。
- 子どもたちへの郷土学習を継続することで、郷土愛の醸成・担い手の育成につながっている。

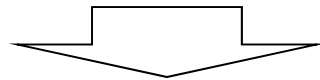
明日香村交付金に関する今後想定されるスケジュール

- 明日香村交付金を通じた支援により、明日香らしい景観の維持・向上、観光振興など地域活性化の取組みの進展に寄与。歴史的風土の創造的活用に向けた地域の主体的な取組みの支援に相当の効果を発揮。
- 『明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金』については、平成22年度から平成26年度までの5年間の予算措置となっている。



- 第4次明日香村整備計画（平成22年度～平成31年度）とあわせた景観の維持・向上や観光振興など明日香村の主体的な取組による地域活性化を図るため、平成27年度以降についても継続した支援が必要。

平成26年 8月末 平成27年度予算概算要求
 12月末 平成27年度予算概算決定



平成27年度～ 「明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金」の継続措置
 （平成27年度～平成31年度）